

特定非営利活動法人 日本市民スポーツ海外交流協会
平成 24 年度 第 5 回理事会 議事録

- 1.開催日時 平成 24 年 9 月 27 日 午後 6:30～午後 8:30
- 2.開催場所 日本大学経済学部 7 号館 10 階教室
- 3.理事総数 13 名
- 4.出席者数 6 名（書面表決書 6 名）
出席者（佐藤文宏、山西哲郎、保原幸夫、岩山海渡、藤田豊、釜崎太 敬称略）
書面表決書（宇佐美彰朗、吉村豊、岡田英孝、鈴木良雄、田村祐司、近藤克之 敬称略）
- 5.議長選任 議長として佐藤文宏氏が選出された。
- 6.議事の経過の概要および議決の結果
- 第 1 号議案 前回理事会（7 月 5 日開催分）議事録に関する件
保原氏から各理事に対し過日メールにて送信し、内容を確認していただいたが、特に疑義等がなかったため承認されたものとする旨報告があった。
- 第 2 号議案 議事録署名人の指名について
議事録署名人として山西哲郎氏と保原幸夫氏が選出された。
- 第 3 号議案 2012メルボルンマラソンについて
保原氏より参加申し込み状況、現地での活動予定および収支見込について説明があり、現地での活動について討議した。
－現時点での参加申し込みは 60 名程度となり、ボーナスの 4,000 ドルが貰えることになった。その結果、収支は何とか黒字になる見込がついた。
－それに伴い、プロモーション活動に積極的に協力頂いた賛助会員のエアラン東京、田中氏に事務局スタッフとして帯同して貰うことにした。
－現地での活動内容については、協力を頂ける現地在住の日本人の方と相談して内容を詰めている。今年は「チーム・ジャパン」としてチーム対抗戦にも参加し、チーム・ビレッジの中にテントを設置することになった。レストラン「鳥松」のオーナーである光永さんの好意で、今年も豚汁 100 人分を提供して頂く事になった。
－佐藤理事長より「チーム・ジャパン」のユニフォームとして日の丸入りの T シャツを作成したらどうかとの提案があったので、納期、予算を検討して決定することとした。
- 第 4 号議案 「ランブリッジ」計画について
藤田氏より活動状況について説明があり、今後の事業形態等について討議を行った。
－実行委員はその後増員し、21 名になった。
毎回、企画を策定した実行委員が中心になって、チャット・サイト“LINE”を活用して参加者を募集している。ツアーにはその実行委員と藤田氏が同行する。
－実施済みのツアーは下記の通り。
9/4～：経営者を中心に上海訪問（8 名）

－今後の計画は下記の通りで、各回3泊4日程度の旅程。内容はサッカー教室、サッカーの試合、施設訪問等。

9/28：台湾（10名）、10/20：ジャカルタ（8名）、11/4：マカオ（人数未定）

11/21：ラオス（人数未定）、12/14：グアム（人数未定）、1/28：ベルギー（人数未定）

2/3：パプア・ニューギニア（人数未定）

－旅行手配はH I Sに依頼している。

－事業形態としては、主催：オブリガード・サッカースクール、後援：J S I Eとし、収益に応じて、J S I Eに協賛金あるいは寄付金として献金することにする。

－「ランブリッジ」副代表の兵藤氏に次回から理事会に参加して頂き、来年度の役員改選の時に、理事に就任して貰うこととする。

第5号議案

各種ランニング教室について

保原氏より、J S I E関連の各種ランニング教室の開催状況について報告があった。

■ J S I Eマラソン完走教室

毎週月曜日および水曜日とも5～8人程度の参加者で推移しており、本年度の延べ参加人数は247名となった。

■ 熟年ランニングスクール

9月から第2期に入り、第1期に引き続き5名の方が受講している。

■ 浦安・美走塾

10月～12月、1月～3月にそれぞれ6回シリーズで浦安市立富岡小学校の低学年を対象に募集を行ったところ62名の応募があったので、それぞれ32名ずつで実施することになった

講師は前半を東京学芸大出身で新宿区の小学校で非常勤講師をしている石川さん、後半を山梨学院出身でサンライズ代表の比嘉さんをお願いすることにした。

第6号議案

シンポジウムについて

釜崎氏より実施要項について説明があり、参加者の勧誘について要請があった。

－「海外スポーツ交流」に考える市民スポーツの課題～地域スポーツクラブの取り組みから～というテーマで、10月6日(土)の14:30から明治大学のリバティタワーで行う。

－司会をスポーツ政策研究会の森川氏と釜崎氏が行い、パネリストとして、当協会の藤田氏、群馬県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会会長の小出氏、塩竈フットボールクラブ理事長の小幡氏の3名の方に講演して頂く。

－募集開始が遅れたので、関係者に呼びかけて30名程度は集めたい。

－経費は釜崎氏の科研費でまかなうこととする。

第7号議案

2013アラフラゲームズについて

オリンピックおよびパラリンピックの期間、対象団体への説明ができなかったため、10月中旬までには再度推進委員会を立ち上げ活動を開始する。

説明資料、募集要項は山西氏と岡田英孝氏が相談して作成する。

第8号議案 2013市民ランナー交流セミナーについて
実施の有無を含め、宇佐美先生の意見を伺って次回理事会で決定する。
なお、日程については日大経済学部7号館が2月11日(祝)に使用できるかどうかを佐藤理事
長が確認してから日程を決定する。

第9号議案 ファンドレイジングについて
PTSの基準である、寄付金の割合を全収入金額の20%以上にすることも3,000円以上の
寄付者を100人集めることも見込がないので、仮認定NPO法人の申請は見送ることとする。
ただし、当協会の存続を図るためのファンドレイジングについては今後前向けに検討する。
各理事の人脈で、当協会の活動趣旨に賛同してくれる寄付者を開拓することが今後の課題で
ある。

第10号議案 その他

■第1回宜野湾ビーチサイド駅伝大会について

当該大会は宜野湾市制施行50周年記念行事として10月28日(日)に開催されるが、実行
副委員長であり、当協会会員の比嘉氏から後援の依頼があったので、了承した。

当日は保原氏が視察に行く。

■次回理事会について

10月18日(木)の6時半から開催することになった。


以上をもって議案全部の審議を終了したので、午後8時30分議長は閉会を宣言し散会した。

上記の議決を明確にするため、議長及び議事録署名人において下記に署名・押印する。

平成24年9月27日

特定非営利活動法人 日本市民スポーツ海外交流協会

議長 佐藤文宏 

議事録署名人 山西 拓中 

議事録署名人 保原 幸夫 